

V その他の試験

- 1 . クリプトスポリジウム等の検出について
- 2 . ダイオキシン類の測定結果
- 3 . 放射性物質調査結果
- 4 . 2,4,5-T系除草剤の水質調査結果について
- 5 . 構成団体からの主な相談
及び調査結果等について
- 6 . 浄水薬品試験結果

1. クリプトスポリジウム等検出について

1 検査頻度

- (1) 浄水のクリプトスポリジウム等の検査は、月 1 回実施
- (2) 原水のクリプトスポリジウム等の検査は、年 4 回実施
- (3) 山口調整池表層のクリプトスポリジウム等の検査は、年 4 回実施

2 検出状況

平成 28 年度，牛頸浄水場の原水（筑後川，10L），浄水（浄水，20L），山口調整池（表層 10L）のクリプトスポリジウム等検出状況を示す。原水で 4 月にジアルジアが 1 個/10L 検出されたが，ろ過水濁度の監視を強化し，異常はなかった。浄水，山口調整池（表層）の検査において，クリプトスポリジウム，ジアルジアともに全て不検出であった。

牛頸浄水場原水及び浄水

採水日	原水（個/10L）		浄水（個/20L）	
	クリプトスポリジウム	ジアルジア	クリプトスポリジウム	ジアルジア
4月5日	0	1	0	0
5月9日	-	-	0	0
6月1日	-	-	0	0
7月4日	0	0	0	0
8月3日	-	-	0	0
9月1日	-	-	0	0
10月6日	0	0	0	0
11月4日	-	-	0	0
12月1日	-	-	0	0
1月5日	0	0	0	0
2月1日	-	-	0	0
3月1日	-	-	0	0

山口調整池（表層）

採水日	山口調整池表層（個/10L）	
	クリプトスポリジウム	ジアルジア
4月14日	0	0
7月20日	0	0
10月19日	0	0
1月25日	0	0

3 クリプトスポリジウム等検出時の対応状況について（原水）

(1) 濁度監視強化

1) ろ過水濁度

高感度濁度計による連続監視モニターの濁度の確認。

2) ろ過水微粒子

微粒子カウンターによるろ過水中の微粒子数の挙動を確認。

（微粒子粒径：1, 4, 7, 9, 12 μ m）

(2) 浄水処理強化

凝集剤（PAC）の注入率を適切に管理。

(3) 情報提供

以下の団体に情報提供を行った。

福岡県水道整備室，福岡県南広域水道企業団，佐賀東部水道企業団，

福岡市水道局水道水質センター

○「クリプトスポリジウム等対策指針」に基づくろ過水濁度調査について

「水道水におけるクリプトスポリジウム等対策指針」に基づき，ろ過池出口水の濁度を高感度濁度計により連続監視している。また，平成12年6月から定期的にろ過池ごとの濁度調査を実施している。平成23年11月，ジアルジアが牛頸浄水場原水から検出されて以降，年2回から月1回へと調査頻度を変更しており，平成28年度も月1回の調査を実施した。

<平成28年度調査結果>

調査回数：4～3月 全24池を各1回（色度・濁度・残留塩素・pH・電気伝導率）
8, 2月 全24池を各1回（鉄・マンガン）

調査結果：①ろ過水濁度は全て0.1度未満

②鉄，マンガン，残留塩素等は異常なし

2. ダイオキシン類の測定結果

ダイオキシン類は、現在、要検討項目に分類されており、目標値は 1pg-TEQ/L (暫定) 以下である。原水及び浄水中の濃度を把握するため、厚生労働省の調査マニュアル(改訂版平成19年11月5日厚生労働省事務連絡)に基づき、委託調査をおこなった。

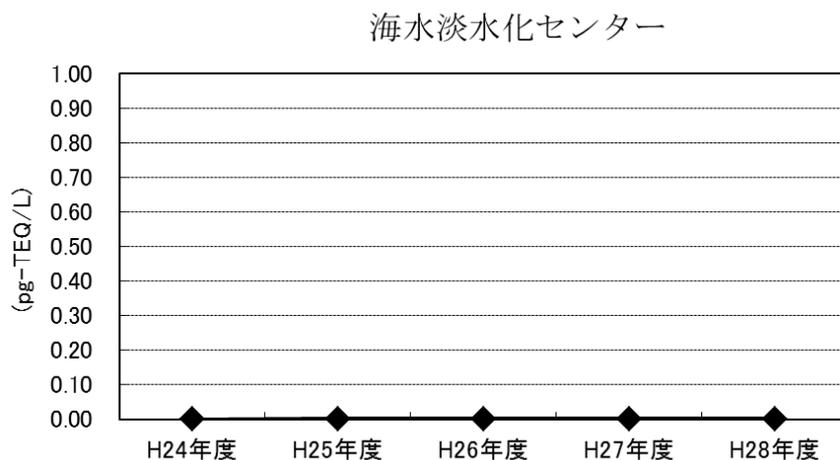
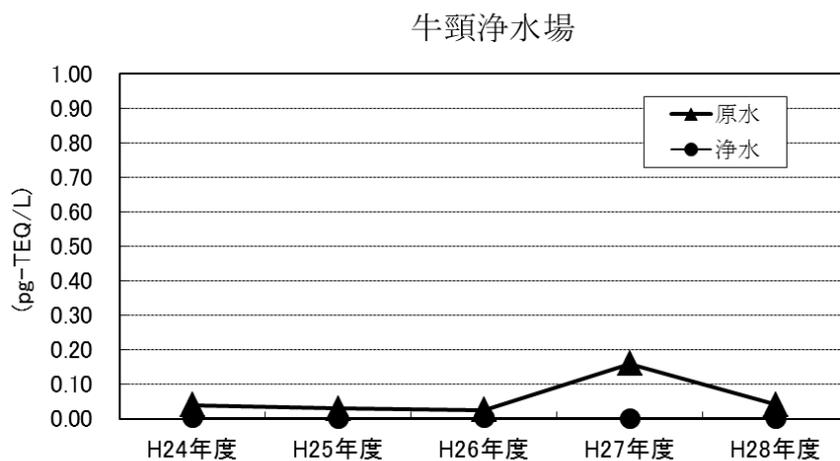
- (1) 調査地点及び採取日：牛頸浄水場 原水 平成28年12月26日
 牛頸浄水場 浄水 平成29年1月4日～5日
 海水淡水化センター 生産水 平成29年1月30日～31日

- (2) ダイオキシン類の検査結果：全て目標値以下

(単位： pg-TEQ/L)

項目	牛頸浄水場 原水	牛頸浄水場 浄水	海水淡水化センター 生産水
ダイオキシン類	0.041	0.00076	0.00062

(参考) ダイオキシン類の経年変化(過去5年間、全て目標値以下)



3. 放射性物質調査結果

厚生労働省水道課長通知により、「水道水中の放射性物質に係る管理目標値」（平成 24 年 3 月 5 日 通知，平成 24 年 4 月 1 日 施行）が示されたことを受け，平成 24 年度から，現状把握のため，原水及び浄水等の放射性物質について委託調査を実施している。

1 調査内容

(1) 調査地点

牛頸浄水場：原水，浄水，脱水ケーキ

海水淡水化センター：浸透海水，生産水，濃縮海水

(2) 調査回数

2 回/年

高濁度時期（梅雨～夏期，活性炭注入時期）：1 回

低濁度時期（冬期，活性炭未注入時期）：1 回

(3) 調査項目

放射性セシウム：セシウム 134，セシウム 137

放射性ヨウ素：ヨウ素 131

2 調査結果

平成28年度は、7月（高濁度時期）および1月（低濁度時期）に調査を実施した。調査結果は全て不検出であった。

	採水日	測定日	試料名	試料量 (g)	測定項目	測定結果 (Bq/kg)	検出下限値 (Bq/kg)
第1回目 高濁度時期	7月4日	7月4日	牛頸浄水場 原水	2000	ヨウ素131	不検出	0.72
					セシウム134	不検出	0.67
					セシウム137	不検出	0.88
					セシウム合計	不検出	-
	7月4日	7月4日	牛頸浄水場 浄水	2000	ヨウ素131	不検出	0.49
					セシウム134	不検出	0.65
					セシウム137	不検出	0.74
					セシウム合計	不検出	-
	7月4日	7月4日	牛頸浄水場 脱水ケーキ	218	ヨウ素131	不検出	4.7
					セシウム134	不検出	3.9
					セシウム137	不検出	4.9
					セシウム合計	不検出	-
	7月4日	7月4日	海水淡水化センター 浸透海水	2000	ヨウ素131	不検出	0.58
					セシウム134	不検出	0.80
					セシウム137	不検出	0.61
					セシウム合計	不検出	-
	7月4日	7月4日	海水淡水化センター 生産水	2000	ヨウ素131	不検出	0.49
					セシウム134	不検出	0.60
					セシウム137	不検出	0.66
					セシウム合計	不検出	-
7月4日	7月4日	海水淡水化センター 濃縮海水	2000	ヨウ素131	不検出	0.56	
				セシウム134	不検出	0.69	
				セシウム137	不検出	0.61	
				セシウム合計	不検出	-	
第2回目 低濁度時期	1月4日	1月5日	牛頸浄水場 原水	2000	ヨウ素131	不検出	0.74
					セシウム134	不検出	0.64
					セシウム137	不検出	0.61
					セシウム合計	不検出	-
	1月4日	1月5日	牛頸浄水場 浄水	2000	ヨウ素131	不検出	0.74
					セシウム134	不検出	0.57
					セシウム137	不検出	0.88
					セシウム合計	不検出	-
	1月4日	1月5日	牛頸浄水場 脱水ケーキ	214	ヨウ素131	不検出	3.5
					セシウム134	不検出	4.4
					セシウム137	不検出	4.5
					セシウム合計	不検出	-
	1月4日	1月5日	海水淡水化センター 浸透海水	2000	ヨウ素131	不検出	0.74
					セシウム134	不検出	0.67
					セシウム137	不検出	0.66
					セシウム合計	不検出	-
	1月4日	1月5日	海水淡水化センター 生産水	2000	ヨウ素131	不検出	0.84
					セシウム134	不検出	0.52
					セシウム137	不検出	0.66
					セシウム合計	不検出	-
1月4日	1月5日	海水淡水化センター 濃縮海水	2000	ヨウ素131	不検出	0.75	
				セシウム134	不検出	0.70	
				セシウム137	不検出	0.78	
				セシウム合計	不検出	-	

4. 2,4,5-T系除草剤の水質調査結果について

昭和46年林野庁の通達に基づき、佐賀県神埼郡東背振村に2,4,5-T系除草剤が佐賀県営林署によって埋設された。埋設位置は、五ヶ山ダム建設予定地の上流域にあるため、平成4年度から年1回水質調査を実施している。

調査期日：平成28年4月25日

調査地点：佐賀橋，南畑ダム流込，南畑取水口の3地点

調査結果：2,4,5-T 3地点とも検出せず（0.00001mg/L未満）

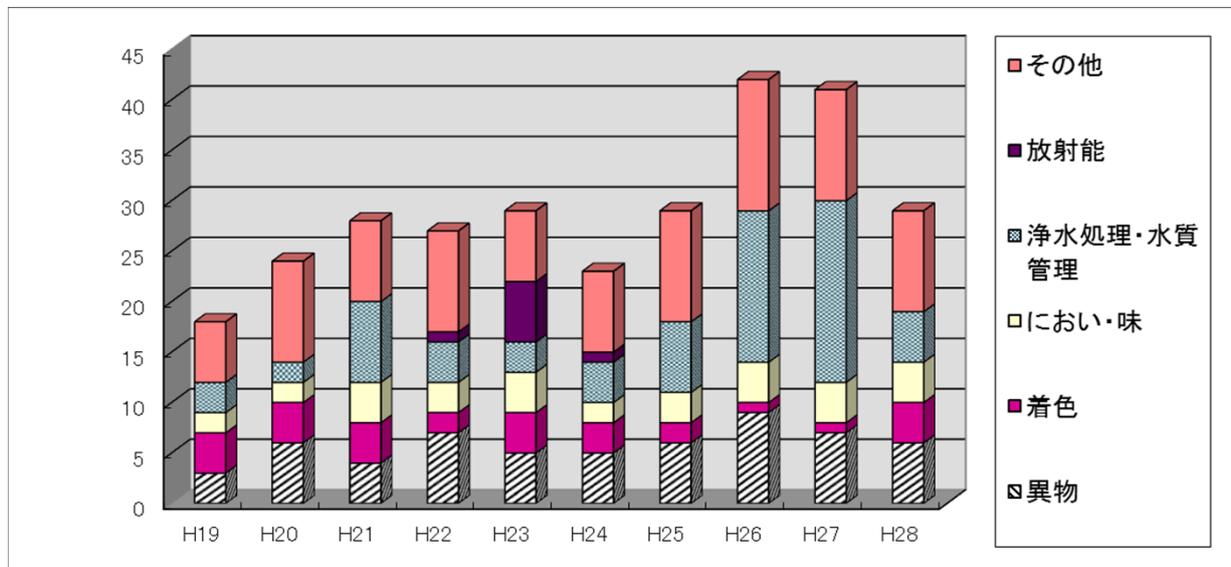
2,4-D 3地点とも検出せず（0.00001mg/L未満）

5. 構成団体からの主な相談及び調査結果等について

平成28年度相談件数29件(内訳:におい6件,異物4件,着色4件,浄水処理・水質管理5件,その他10件)中, 13件掲載

受付日	分類	構成団体からの相談内容	相談の回答または調査結果
4月15日	浄水処理・水質管理	浄水場浄水において一般細菌を1検出したため, 原因を調査したい。	一般細菌が検出される要因として, 配管や空気中の汚染, 採水ミス, 次亜との接触時間の不足などが考えられる。これらの要因を調査した結果, 浄水場内における次亜の接触時間の不足により, 細菌が検出されていることがわかった。
4月20日	その他	熊本地震の影響により, 給水車を出勤させる。しばらく使用していないタンクのため, タンクに入れた後の水の臭気試験を依頼したい。	2検体の臭気試験を実施。残塩は0.44と0.70。臭気は異常なし。但し, 残塩が0.70の検体は塩素の臭いがかなりした。繰り返しタンクを洗浄した後に使用したほうが良いとお伝えした。
5月2日	におい	貯水池①で生ぐさ臭が強くなってきているため, 確認してほしい。処理水に臭いを感じ, 貯水池①が原因と考えられたため貯水池②に切り替えた。臭気と生物総数の検査をお願いしたい。	貯水池①: 生ぐさ臭25, 生物総数180 貯水池②: も・生ぐさ臭15, 生物総数55 どちらも魚臭・生ぐさ臭につながるような生物はいるが, 特別多くない。貯水池①は河川から3~4日流入させているため改善したと思われる。
5月12日	着色	うどん店で仕込みの際に水が黄色く濁ることがあるという苦情があった。色度・濁度・金属を調べてほしい。	検査の結果, 色度18, 濁度0.7, ホウ素:0.03mg/L, アルミニウム:0.01mg/L, 鉄:0.01mg/L, 銅:0.043mg/L, 亜鉛:0.005mg/Lであった。検査結果から, 配管由来の金属により色がついていると考えられる。本管の水の検査結果は, 色度1未満, 濁度0.1未満, ホウ素:0.02mg/L, アルミニウム:0.01mg/Lであり, 問題がなかったことをお伝えした。
6月1日	その他	新たな水道水源として湧水(3ヶ所)を考えている。事前に水質を知りたいがどの項目をすればよいか。過去に当該水源の水質検査を行ったことは一度もない。また, 近隣周辺に汚染源となるものはない。	過去に水質検査を行ったことが一度もない地点であるならば, 原水全項目の検査をしたほうがよい。ただし, 予算の都合もあるので, 原水全項目を減らした他のセット項目もお伝えした。
8月10日	におい	新築住居の水道水からドクダミ臭がするという苦情が来ている。家周辺にドクダミがたくさん生えており, 家中臭う状態。水道水を採水して別の場所に持って行っても臭うとのこと。隣も同じ時期の新築だが, 苦情はない。	臭気試験は異常なし。臭気試験「異常なし」の結果を苦情者へ伝え, 納得されないようであれば, 一番においを感じるときに, 再度検査をしたほうがよい。
8月19日	異物	住民から, 水道の出が悪くなったので, ストレーナーを調べたところ, 緑白色の異物があったとの苦情を受けた。異物が何なのかを知りたい。	異物分析機器による検査の結果, 異物の主成分はポリエチレンであり, 銅により緑色に着色したと考えられる。報告書を送付した。

9月8日	浄水処理・水質管理	水源である井戸水の定期検査の採水時、通常時より色、濁りがあったので、その原因を知りたい。 浄水処理は井戸水を除マンガンし、紫外線処理している。井戸水のマンガンの高くなっているのが原因と考えている。採水は除マンガン前の水であり、除マンガン後の浄水の濁度は計器で監視しているが異常はない。なお、採水の管路は通常時も使用しており、流量などの変更はしていない。	色度、濁度、金属等の検査を実施した。 色度2度、濁度0.5度、TOC:<0.1、アニオンカチオンは浄水とほぼ同値。 鉄:0.18、マンガン:0.001、ウラン:0.0010、その他の金属は定量下限値未満であった。 色、濁りがあったこと、鉄が基準値の半値以上と高い値であったことをお伝えした。
9月20日	浄水処理・水質管理	水道統計年報を作成している。 H27年2月、浄水のランゲリアの値-1.6となっているが、ランゲリアの値を0に近づけるにはどうしたらよいか。	ランゲリアは、蒸発残留物、水温、カルシウムイオン、アルカリ度、pHから計算される。ランゲリアを0に近づける具体的な方法としては、アルカリ剤の注入量の増加によりアルカリ度をあげ、ランゲリアを0に近づける方法が有効である。また、アルカリ剤を消石灰に変えることにより、カルシウムイオンを増加させランゲリアを0に近づけることもできるとお伝えした。
10月27日	着色	事業センターの給水栓で歯ブラシに色が付くと苦情があった。事業センター給水栓から鉄が検出されており、着色の原因かもしれないため、確認検査を依頼したい。	臨時検査として依頼をうける。定期検査と同日(同系統他地点)に事業センターの水も採水してほしい。蛇口をひねった直後の水と通常採水するように5分後の水の2種類採水するとよりわかると思う。 事業センターは2検体とも0.003mg/L、同系統他地点は0.001未満であった。
11月25日	異物	蛇口のストレーナーに繊維状の白い異物がつまり出水不良となる。異物の調査を依頼したい。	調査の結果、異物は塩化ビニル酢酸ビニル共重合樹脂であり、原因としては接着剤などが疑われた。報告したところ、本管では接着剤は使用していないため、宅内のヘッダー管かその周辺が原因だろうとのこと。また、水質には問題ないか確認されたため、今回出てきた異物は水に溶けない樹脂であり、水に溶け込んで、健康に害が出るとは考えづらい。異物苦情で水質検査を実施することもあるが、問題になったことはほぼない。異物と水質は切り離して考えた方がよいとお伝えした。
12月7日	におい	水源であるダムでかび臭発生が続いているが詳細を知りたい。	水深別調査を実施した。特に表層でアナベナを原因生物とするかび臭(ジェオスミン)の発生が続いている。アナベナによるかび臭被害は春から秋にかけて発生しそろそろ終息しているもおおかしくない。アナベナの最適生育温度は25度前後で真夏は適さない。また、12月に入って発生を見るのは稀である。一度発生すると今後も同様のレベル程度は発生する考えておいた方がよい。今後は終息に向かって改善されると思うがどの程度で終息するかは分からないとお伝えした。
3月1日	浄水処理・水質管理	浄水薬品(PAC、次亜塩素酸ナトリウムおよび苛性ソーダ)の品質規格に比重があったら教えて欲しい。	品質規格の比重については、PACと次亜塩素酸ナトリウムに設定されていることをお伝えした。



6. 浄水薬品試験結果

評価項目試験は「水道用薬品の評価試験方法 JWVA Z 109:2010」による

ポリ塩化アルミニウム(牛頸浄水場)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日			
			H28.4.6	H28.7.2	H28.10.13	H29.1.11
外観		無色～黄味がかかった 薄い褐色の透明な液体	無色透明な液体	無色透明な液体	淡黄褐色透明液体	淡黄褐色透明液体
酸化アルミニウム	%	10.0～11.0	10.9	10.6	10.4	10.9
塩基度	%	67～75	69.0	69.2	71.6	67.5
pH値(10g/l溶液)		3.5～5.0	4.3	4.4	4.3	4.4

※ 品質項目試験は「水道用ポリ塩化アルミニウム JWVA K 154:2005-2」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日			
			H28.4.6	H28.7.2	H28.10.13	H29.1.11
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	1.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ホウ素及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
四塩化炭素	mg/L	0.0002	<0.00002	<0.00002	<0.00002	<0.00002
1, 4-ジオキサン	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
シス-1, 2-ジクロロエチレン及び トランス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
ジクロロメタン	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
トリクロロエチレン	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ベンゼン	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
塩素酸	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
臭素酸	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉄及びその化合物	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
銅及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
マンガン及びその化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	0.002	<0.002
非イオン界面活性剤	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
フェノール類	mg/L	0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.3	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
味		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
アンチモン及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ウラン及びその化合物	mg/L	0.0002	<0.00002	<0.00002	<0.00002	<0.00002
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	<0.00004	<0.00004	<0.00004	<0.00004
銀及びその化合物	mg/L	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
バリウム及びその化合物	mg/L	0.07	<0.007	<0.007	0.008	0.028
モリブデン及びその化合物	mg/L	0.007	<0.0007	<0.0007	<0.0007	<0.0007

水酸化ナトリウム25%(牛頸浄水場)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日		
			H28.5.11	H28.7.19	H29.1.10
外観		無色又はわずかに着色した透明な液体	無色透明な液体	無色透明な液体	無色透明な液体
水酸化ナトリウム	%	25以上	26.2	25.3	25.4

※品質項目試験は「水道用水酸化ナトリウム JWWA K 122:2005」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日		
			H28.5.11	H28.7.19	H29.1.10
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
アンチモン及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

濃硫酸95%(牛頸浄水場)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日	
			H28.4.7	H28.10.25
硫酸分(H ₂ SO ₄)	%	95以上	95.8	95.2

※品質項目試験は「水道用濃硫酸 JWWA K 134:2005」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日	
			H28.4.7	H28.10.25
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005
鉄及びその化合物	mg/L	0.03	<0.003	<0.003

次亜塩素酸ナトリウム(牛頸浄水場)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日			
			H28.4.6	H28.7.4	H28.10.8	H29.1.5
有効塩素	%	12.0以上	12.9	12.4	13.4	13.1
外観		淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体

※品質項目試験は「水道用次亜塩素酸ナトリウム JWWA K 120:2008-2」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日			
			H28.4.6	H28.7.4	H28.10.8	H29.1.5
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
臭素酸	mg/L	0.005	0.0022	0.0015	0.0016	0.0015
塩素酸及びその化合物	mg/L	0.4	0.11	0.07	0.11	0.11

粉末活性炭(牛頸浄水場)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日		
			H28.4.7	H28.7.12	H29.3.8
乾燥減量	%	50以下	44.9	45.9	47.2

※品質項目試験は「水道用粉末活性炭 JWWA K 113:2005-2」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日		
			H28.4.7	H28.7.12	H29.3.8
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	-	-
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	-	-
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	-	-
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	-	-
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	-	-
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	-	-
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	-	-
銅及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	-	-
マンガン及びその化合物	mg/L	0.005	<0.0005	-	-
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	-	-
アンチモン及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	-	-

水酸化ナトリウム20%(海水淡水化センター)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日	
			H28.5.23	H28.10.24
外観		無色又はわずかに着色した透明な液体	無色透明な液体	無色透明な液体
水酸化ナトリウム	%	20以上	20.2	20.3

※品質項目試験は「水道用水酸化ナトリウム JWWA K 122:2005」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日	
			H28.5.23	H28.10.24
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002
アンチモン及びその化合物	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002

濃硫酸98%(海水淡水化センター)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日	
			H28.4.28	H28.11.8
硫酸分(H ₂ SO ₄)	%	98以上	98.0	98.2

※品質項目試験は「水道用濃硫酸 JWWA K 134:2005」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日	
			H28.4.28	H28.11.8
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005
鉄及びその化合物	mg/L	0.03	<0.003	<0.003

次亜塩素酸ナトリウム(海水淡水化センター)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日	
			H28.4.14	H28.10.19
有効塩素	%	12.0以上	13.3	13.1
外観		淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体	淡黄色の透明な液体

※品質項目試験は「水道用次亜塩素酸ナトリウム JWVA K 120:2008-2」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日	
			H28.4.14	H28.10.19
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	<0.00003	<0.00003
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005
臭素酸	mg/L	0.005	0.0005	<0.0005
塩素酸及びその化合物	mg/L	0.4	<0.04	<0.04

水酸化カルシウム(海水淡水化センター)

品質項目	単位	品質基準	採取年月日	
			H28.4.22	H28.11.14
外観		白色の粉末	白色の粉末	白色の粉末
酸化カルシウム(CaO)	%	72以上	72.5	73.2

※品質項目試験は「水道用水酸化カルシウム JWVA K 107:2005」による

評価項目	単位	評価基準値	採取年月日	
			H28.4.22	H28.11.14
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003	0.00005	0.00004
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005	<0.000005	<0.000005
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001	<0.0001	<0.0001
六価クロム化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005